

設立 5 年目の事業年度の事業報告書
2015 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 沙羅の会カウンセリングハウス

- 1 事業実施の方針に基づき下記事業を実施した。
- 2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 精神衛生（メンタルヘルス）に対する相談・検査に関する事業

ア カウンセリング事業

- ・内 容 臨床心理学に基づいたカウンセリングや心理療法および心理検査を実施することで、精神衛生上の問題解決や自己理解を支援した。相談実績は以下の通り。

2015 年 相談者数 215 件 新ケース 117 件 相談延べ件数 1738 件

心理テスト(Ror., WAIS, WISC)23 件 グループ延べ参加人数 63 人

(参考データ)

2014 年 相談者数 171 件 新ケース 81 件 相談延べ件数 1462 件

心理テスト(Ror., WAIS, WISC)30 件 グループ延べ参加人数 60 人

2013 年 相談者数 157 件 新ケース 44 件 相談延べ件数 1400 件

心理テスト(Ror., WAIS, WISC)12 件 グループ延べ参加人数 28 人

- ・日 時 通年
- ・場 所 事業所の面接室 2 室
- ・従業者人員 14 人 (山口 細井 倉林 加藤 南河 森平 土井 熊谷 橋本 平元 井上 児島 津山 戸塚)
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題をかかえた方をはじめ一般市民
- ・支出 8,647,104 円 (予算 8,000,000 円)
- ・収入 7,545,231 円 (予算 5,500,000 円)

イ グループワーク事業

- ・内 容 グループ形式での心理療法を行い、相談者同士の相互援助や問題解決を支援した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事業所外の貸し会議室など
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題をかかえた方をはじめ一般市民
- ・収入 252,500 円 (予算 250,000 円)
- ・支出 166,600 円 (予算 0 円)

【グループワーク紹介】

a シニアグループ「シニア研究」

参加者 2~5 名の少人数のグループで 4 年目。語り合い、夢の研究、旅行体験などを語ってこころの交流をした。終活つまりお墓などの話題もあって深味をますひとときが生まれている。

延べ 28 名

日時：第 3 火曜日（10 回）14：00～16：00 102 室

担当；細井八重子

収入：61,500 円 支出:36,500 円(カウンセリング事業の支出に繰入) 収支差額:25,000 円

b 調整的音楽療法グループ

自分の心・身体・周囲で起こっていることをありのままに受け止めることで、自然体でいきいきと生きられるようになるためのトレーニングであり、マインドフルネスの技法のひとつである、調整的音楽療法を、グローズドグループで週 1 回、20 週に渡って行った。参加者 7 名、延べ 61 名。

日時：1 月 17 日～7 月 25 日

毎週土曜日 15：30～16：30

会場：スタジオ F

担当：森平直子

収入：191,000 円 支出：166,600 円 収支差額:24,400 円

ウ コンサルテーション事業

- ・内 容 臨床心理学に基づいた専門的な見地から、組織内における心理的援助を円滑に進めるためのアドバイスを行う。2015 年は依頼がなく、実施はしていない。
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所等
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題をかかえた方をはじめ一般市民
- ・収入 0 円（予算 50,000 円）
- ・支出 0 円（予算 0 円）

エ 東日本大震災心理支援事業

- ・内 容 「3.11 オンラインストレス相談プロジェクト」というプロジェクト名で、被災地で心理的な相談を受ける機会が持てない人に対して、オンラインのビデオ通話を用いて継続的なカウンセリングを行い、被災者の心理的な回復を援助する。2015 年は震災から 4 年が経った被災地の特有のストレスの調査を目的にウェブ上で「震災から 4 年目におけるストレス調査」というアンケートを実施して、福島県、宮城県、岩手県の住民から 396 件の回答を得た。また、宮城県気仙沼市の南郷復興住宅で行われている医療相談会へ臨床心理士として 8 月と 12 月の 2 回参加した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所および宮城県気仙沼市
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 東日本大震災の被災者およびその支援者
- ・収入 0 円
- ・支出 58,900 円

② 精神衛生（メンタルヘルス）専門職の技術の向上に関する事業

ア 研修事業

- ・内 容 精神衛生（メンタルヘルス）に関する専門的なトレーニングを受けた専門家に向けた心理療法や心理検査に関する知識や技術向上のための研修会・スーパービジョン（専門的指導）を行う。
- ・日 時 各研修会による(下記参照)
- ・場 所 各研修会による(下記参照)
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）に関する専門家
- ・収入 421,500 円（予算 600,000 円）
- ・支出 268,951 円（予算 450,000 円）

【研修会紹介】

a 第 66 回箱庭・コラージュ研究会ワンデイ・ワークショップ

NPO の前身、沙羅の会の研究活動を継続して 16 年になる。参加受講者 39 名
今年度は 2 つのケースの事例検討以外に入門者向けの箱庭の基礎について副理事長の細井が研修を行った。コメンテーター講師には入江良平先生、杉浦京子先生をお招きした。

日時：2015 年 3 月 22 日（日）10：00～16：40

会場：町田市文化交流センター

担当：細井八重子 事務局；土井、熊谷

収入：310,000 円 支出：210,246 円 収支差額：99,754 円

b じっくり事例検討会

沙羅の会カウンセリングハウスのスタッフを中心とした臨床心理士のグループで、日ごろの相談ケースを 1 人 1 ケースずつ振り返り、カウンセラーのリフレッシュとスキル向上をはかる。N.マックウィリアムズ『ケースの見方・考え方』他 2 冊、D.カルシュエッド『トラウマの内なる世界』などをテキストにケースアセスメントを試みる。メンバー間で事例の進め方を相互理解すること、育ちあう仲間としての雰囲気づくりが課題となってきた。

日時：毎月第 1 土曜日（10 回） 17：30～19：20

会場：みどりアートパーク会議室 B

担当：細井八重子、戸塚由美子

収入：103,500 円 支出：77,800 円 収支差額：25,700 円

③ 精神衛生（メンタルヘルス）に関する普及啓発事業

ア ホームページ運営事業

- ・内 容 精神保健や臨床心理学に関わるホームページの運営を行った。2015 年度では前年に引き続き Yahoo と google の行っている NPO 法人向けの無料サービスを活用し、ホームページをより多くの人に見てもらえるよう努めた。ホームページを見た人からの相談申込が多くなっている。2015 年からはスタッフが書くコラムの頻度を増やして毎月更新されるようにした。
- ・日 時 通年

- ・場 所 法人事務所等
- ・従業者人員 6人
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題を抱えた方をはじめ一般市民、学校および事業者
- ・収入 14,011円
- ・支出 51,100円

イ 研究報告書、機関紙、書籍の編修および発行事業

- ・内 容 箱庭・コラージュ研究会の内容をまとめた「箱庭コラージュ研究 No66」の編集・発行を行った（50部、担当は細井、土井、井上）。
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所等
- ・従業者人員 6人
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題を抱えた方をはじめ一般市民、学校および事業者
- ・収入 0円
- ・支出 6,490円

(2) その他の事業

① 施設貸出事業

- ・内 容 法人事務所の部屋を準会員のカウンセリングに貸出す。2015年は実施していない。
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所等
- ・従業者人員 6人
- ・受益対象者 精神衛生（メンタルヘルス）の問題を抱えた方をはじめ一般市民、学校および事業者
- ・支出 0円
- ・収入 0円

※理事会開催

理事と事務陪席を得て次の日時に計6回開催し、運営上の諸問題を諮った。

第27回(2/15) 第28回(4/12) 第29回(6/21) 第30回(9/13) 第31回(9/28) 第32回(11/29)